

公共事業事前評価調書(平成 26年度予算要望)

所管課: 河川課

担当班: 企画開発班

事業名	報得川河川改修事業		事業区分	河川改修	事業主体	沖縄県
事業箇所	八重瀬町世名城～東風平地先					
事業の諸元	事業区間 L=2.5km 護岸改良 一式、橋梁改築 一式 等					
事業の概要	本事業は、報得川の1/30年確率降雨での河川整備済み区間約6.8kmの上流、約2.5kmの河川未整備区間(八重瀬町世名城・東風平地区)について、洪水被害からの防御、良好な河川環境の保全・創出を目的とするものである。					
事業の必要性・効果等	<p>《必要性等》</p> <p>当該河川の事業計画区間は、現況における最小流下能力が1/5年確率降雨未滿と大変小さく、H19年12月豪雨による国道507号冠水や児童の水難死亡事故、H23年11月豪雨による再度の国道507号冠水や東風平中学校生徒の緊急避難などの洪水被害が発生している。</p> <p>以上のことから、河川未整備区間においても1/30年確率降雨に対する洪水被害を解消するため、早期に河川改修を行う必要がある。</p> <p>《効果等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水害の防御</li> <li>・自然や生態系の保全と創出</li> </ul>					
事業期間	事業採択	平成 26年度		完了(予定)	平成 35年度	
全体事業費	20.2	(億円)	補助・交付金・単独の別	交付金	補助率	9/10
費用対効果	B/C	総便益:B	37.1 (億円)	総費用:C	18.2 (億円)	基準年
	= 2.0	① 被害軽減期待額 12.6億 ② 施設残存価値 0.1億 ③ 環境便益 24.4億		① 建設費 16.4億 ② 維持管理費 1.8億		平成 24年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (4) 社会リスクセーフティネットの確立 イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化」に河川の治水対策が位置づけられている。					
環境への配慮	「自然環境に配慮した川づくり(多自然川づくり)」を基本方針とし、良好な自然環境の保全、環境への影響の低減及び環境の再生に努める。					
関係する地方公共団体等の意見	八重瀬町から当該区間の浸水被害を早期になくして欲しいとの要望がある。					
概要図(位置図)	<p>概要図(位置図)は、報得川沿いの地形図を示しています。左側には豊見城市、糸満市、右側には南城市が示されています。河川は青色で、流域界は緑色の線で示されています。事業区間は赤い線で、長さ2.5kmと示されています。整備済み区間は黒い線で、長さ6.8kmと示されています。世名城・東風平地区は黒い枠で囲まれています。また、東風平小学校、東風平中学校、町役場東風平庁舎、与那川橋、ヘリサ橋、国道507号などの施設も示されています。右側には沖縄県の位置図と、報得川位置図の凡例が記載されています。</p>					